

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム さくらそう
日付	平成19年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>代表者と管理者の考えが一致し、協力し合っていました。介護の仕事が始めての職員も多く、管理者の今までの経験を踏まえ、一つずつ細かく職員に伝えていました。職員の方も管理者の経験値を納得できるまで確認していました。職員は入居者との関わりを多く持とうと努めています。はつらつとした元気で明るいグループホームだと思います。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p><small>1ユニット目の開業がもうすぐということで、通常より多めの職員で構成されていました。今回の人数であれば入居者に対する関わりは問題ないと思いますが、両ユニットが稼働し始めたときに大変なのが、少し危惧される点があります。職員全てにきちんと代表者、管理者が基本姿勢を伝え、特に見守りをしなければという姿勢を大切に守って欲しいと思いました。</small></p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) ・明るく、楽しく、部屋もあたたかく、ご飯もおいしく、職員が楽しめる事を行っています。 ・安全に暮らしてもらうために入居者の体の管理、施設の管理をきちんとしています。 ・危険でない事はルールにとらわれず、やってみることを目指しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 常に職員の誰かが関わりをもてるようにしています。また、よく会話をしています。不穏なときも傍にいて話を聞いています。「だめ」「待って」などは言わないようにしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) ・トイレの言葉かけには注意しています。他の入居者に配慮した言い方で誘導しています。居室内で着替えをするときに、道路側から見やすいのでカーテンをきちんと閉めるようにしています。 ・林業をしていた男性に、かざらで小物を作ってもらったり、板磨きをお願いしたりしています。女性には畑の草取りや、水やりをお願いしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	介護の仕事がはじめての職員もたくさんいます。管理者は、言葉かけの仕方や介助の仕方、緊急時の対応などを丁寧に指導しています。入居者の転倒があったときは、職員間で話し合いをして意見を出し合い、ベッドの向きを変え、見守りを強化することで一致しました。		